

2025年東京都議選・参院選 有権者の政治意識 継続調査

2025年6月22日に投開票が行われた東京都議会議員選挙、7月20日投開票が行われた参議院議員選挙に関わる有権者の政治意識や投票行動、メディアの接触状況や生活・心理状況を把握するための調査を2025年6月～7月にかけて実施しました。

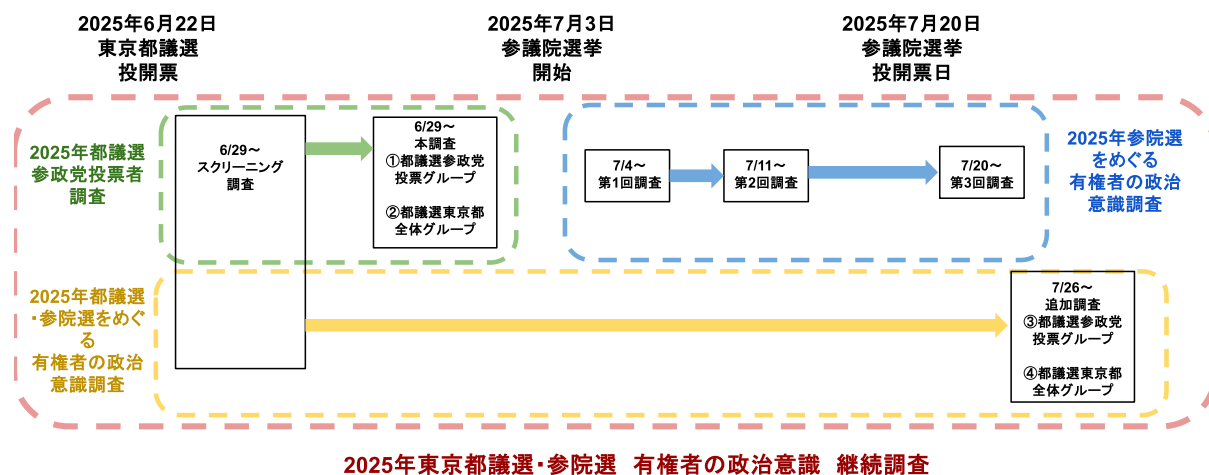
1つ目が東京都の有権者を対象にした調査で、東京都議選直後に2回にわたって実施した「**2025年都議選参政党投票者調査**」です。

2つ目は同じく東京都の有権者を対象にした調査で、東京都議選直後と参院選挙直後の2回にわたって実施した「**2025年都議選・参院選をめぐる有権者の政治意識調査**」です。1回目のスクリーニング調査は1つ目の調査と同一のものを使用しています。

そして3つ目は全国の有権者を対象にした調査で、参議院選挙期間中に3回にわたって実施した「**2025年参院選をめぐる有権者の政治意識調査**」となります。この調査の実施にあたっては、調査設計を大阪経済大学の秦正樹准教授に監修いただきました。

いずれも、同じ方に複数回にわたって調査にご協力いただくパネル調査の形式で実施しました。この3つの調査を合わせて「2025年東京都議選・参院選 有権者の政治意識 継続調査」と呼びます。

なお、この調査の質問文の中には、排外意識や誤情報への反応を調査する目的で、事実とは異なる内容や倫理的に問題のある表現を含んでいます。閲覧する際には十分にご注意ください。



調査概要は以下をご覧ください。

2025年都議選参政党投票者調査 調査概要

社会調査支援機構
チキラボ

項目	内容
実施期間	スクリーニング調査 2025年6月29日～7月1日 追加調査 2025年7月26日～8月4日
実施会社	アイブリッジ株式会社
スクリーニング調査 対象者	東京都に在住の18～99歳の男女（アンケートプラットフォーム「Freeasy」のモニター登録者） 東京都の性別・年齢の人口分布（住民基本台帳による東京都の世帯と人口（町丁別・年齢別）/令和7年1月 https://www.toukei.metro.tokyo.lg.jp/juukiy/2025/jy25000001.htm ）に合わせて調査対象者を割付 20,000名にスクリーニング調査を配信

調査種別	調査体調（配信数）	回答数	調査構成
スクリーニング 6/29～7/1	20,000名	16,390名 （最終締切前に回収したケース）	参政党に投票した理由、政策に対する意見、外国人に対する意識、政党・政治家への好感度など
本調査 6/29～7/1	スクリーニング調査より、都議選で 参政党の候補者に投票した300名	都議選参政党投票者グループ① 241名	同上
	スクリーニング調査より、 ランダムサンプリングした900名	都議選東京都全体グループ② 419名	

2025年都議選・参院選をめぐる有権者の政治意識調査 調査概要

社会調査支援機構
チキラボ

項目	内容
実施期間	スクリーニング調査 2025年6月29日～7月1日 追加調査 2025年7月26日～8月4日
実施会社	アイブリッジ株式会社
スクリーニング調査 対象者	東京都に在住の18～99歳の男女（アンケートプラットフォーム「Freeasy」のモニター登録者） 東京都の性別・年齢の人口分布（住民基本台帳による東京都の世帯と人口（町丁別・年齢別）/令和7年1月 https://www.toukei.metro.tokyo.lg.jp/juukiy/2025/jy25000001.htm ）に合わせて調査対象者を割付 20,000名にスクリーニング調査を配信

調査種別	調査体調（配信数）	回答数	調査構成
スクリーニング 6/29～7/1	20,000名	16,563名	選挙区、都議選での投票先政党、都知事選での投票先、自身の政治的立ち位置、学歴
追加調査 7/26～8/4	スクリーニング調査より、都議選で 参政党の候補者に投票した385名	都議選参政党投票者グループ③ 278名	参院選での投票先、ファクトチェック情報への接触、SNS接触状況、政治家への好感度、政策重視度、ジェンダー意識、外国人政策への賛否など
	スクリーニング調査より、 ランダムサンプリングした700名	都議選東京都全体グループ④ 410名	

2025年参院選をめぐる有権者の政治意識調査 概要

社会調査支援機構
チキラボ

項目	内容
目的	参院選をめぐる人々の政治意識について、選挙期間中にどのような変化が、どのような人に、なぜ生じるのかを明らかにするため、同一対象者に対して3回の継続調査を実施。
実施期間	第1回：2025年7月4日～5日 第2回：2025年7月11日～14日 第3回：2025年7月20日（投票締切後）～21日
実施会社	アイブリッジ株式会社
対象者	日本在住の18～99歳の男女（モニター登録者） 地域・性別・年代を、日本社会の人口分布（住民基本台帳・令和6年1月1日現在）に基づき割付 人口割付の基準：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（令和6年1月1日現在）」 https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/daityo/jinkou_jinkoudoutai-setaisuu.html

調査対象・分析対象の推移（各回のステップ） 2025年参院選をめぐる有権者の政治意識調査

社会調査支援機構
チキラボ

	調査対象（配信数）	回答数	分析対象 （サテイスフェイス項目に正答）	調査構成
第1回 7/4～5	2,462名	2,462名	1,855名	【全23問】 基本属性／公平意識などの社会心理意識 ／政策評価／政治リーダー能力観／ 感情温度／メディア利用／ 選挙情報取得状況／支持政党／ 投票予定／投票予定先政党
第2回 7/11～14	第1回調査の分析対象 1,855名	1,688名	1,500名	【全14問】 外国人政策評価／外国人への意識／ ジェンダー意識／感情温度／ メディア利用／選挙情報取得状況／ 投票予定／投票予定先政党
第3回 7月20日 投票締切後 ～21日	第2回調査の分析対象 1,500名	1,000名	911名	【全29問】 外国人政策評価／外国人への意識／ ジェンダー意識／感情温度／ メディア利用／選挙情報取得状況／ 投票予定／投票予定先政党／ 社会心理状況

1. 「2025年都議選参政党投票者調査」／「2025年都議選・参院選をめぐる有権者の政治意識調査」スクリーニングデータについて

1-1 スクリーニング調査回答者の年代・性別の構成

スクリーニング調査では東京都に在住する18歳以上の年代・性別人口構成に合わせて割付設定を行い、Freeasyの登録モニターに配信をしました。各年代・性別別の配信数と回収数・回収率を以下の表にまとめました。東京都の本来の人口構成と比較して、若年層と高齢の女性の回収率がやや低いデータとなっています。

	男性			女性		
	配信数	回収数	回収率	配信数	回収数	回収率
18・19歳	188	44	23.4	183	129	70.5
20代	1405	545	38.8	1410	1004	71.2
30代	1508	1507	99.9	1474	1474	100.0
40代	1724	1724	100.0	1659	1659	100.0
50代	1866	1866	100.0	1801	1801	100.0
60代	1252	1252	100.0	1223	1223	100.0
70代以上	1798	1798	100.0	2509	537	21.4

注) 「2025年都議選参政党投票者調査」は最終締切前に回収できた16390ケースから本調査へ進めるサンプルを抽出した。

1-2 スクリーニング調査回答者の世帯年収の構成

東京都の世帯年収の分布は東京都がWebで公表しているデータから入手することが困難でしたので、代わりに令和6年1月にまとめられていた『都民生活に関する世論調査』（https://www.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/tosei/01_02_156）で得られているデータを参照しました。

こちらのデータは、都議選データと同じく、東京都の18歳以上の人々を対象としており、層化二段無作為抽出法という方法で、サンプルを得ています。アンケートは郵送で送り、回答は紙に、またはオンラインでも可能な設計となっているようです。こちらは44.6%の有効回答数となっています。調査対象とした人たちのうち、約4割の人たちがアンケートに回答してくれた、ということです。詳しい調査方法は調査報告書をご覧ください。

そのデータと都議選データで得た世帯年収の分布を比べた結果が以下の表です。

	都民生活に関する世論調査	チキラボ調査
100万未満	12.8	8.1
100万～200万未満		6.2
200万～300万未満	10.7	9
300万～400万未満	11.1	11.7
400万～500万未満	9.6	10.4
500万～600万未満	11.7	9.5
600万～700万未満		7.6
700万～800万未満	9.5	6.7
800万～900万未満		5.7
900万～1,000万未満	9（900万～1100万円未満）	5.9
1,000万～1,200万未満	5.9（1100万円～1300万円未満）	6.8
1,200万～1,500万未満	3.3（1300万～1500万円未満）	5.3
1,500万～1,800万未満	3.5	2.3
1,800万～2,000万未満		1.2

2,000万以上	2.4	3.8
----------	-----	-----

一部、収入帯の設定が違っているので比べにくくなっているところもありますが、概ね、同水準の数値が得られています。

このスクリーニング調査で回収できた回答者の中から、さらにランダムサンプリングを行い、「2025年都議選参政党投票者調査」の本調査を実施しました。参政党投票者は241名、東京都有権者419名の回答を回収できました。同様に、スクリーニング調査で回収できた回答者の中から、「2025年都議選・参院選をめぐり有権者の政治意識調査」の追加調査の対象となる人をランダムサンプリングし、都議選参政党投票者は278名、東京都全体から410名の回答を追加調査で得られました。

2. 「2025年参院選をめぐり有権者の政治意識調査」データについて

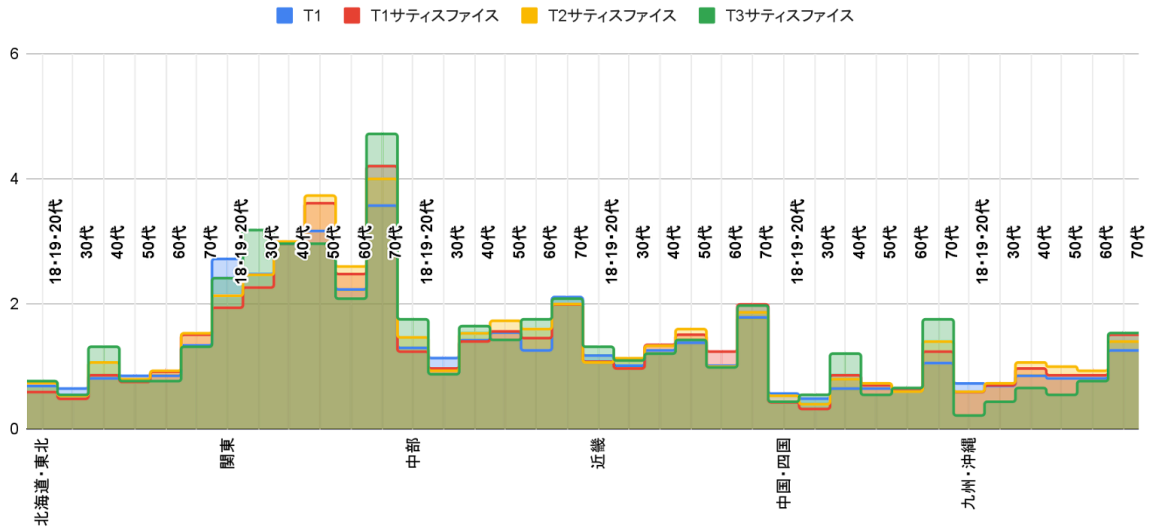
2-1 回答者の年代・地域・性別の構成

本調査では、日本在住の18歳以上の人口を北海道・東北／関東／中部／近畿／中国・四国／九州・沖縄の男女の人口に合わせて割付を行い、Freeasyの登録モニターに配信をしました。各回の調査では、サティスファイス項目も設け、その項目を通過した回答者を分析ケースとして使用することにしました。そのため、調査をすすめるにしたがって、脱落者が生まれ、第3回目の調査の分析ケースとなった回答者の地域・年代・性別の構成は、当初配信した構成から偏りが生じます。本調査データの「偏り」について確認をしていきます。

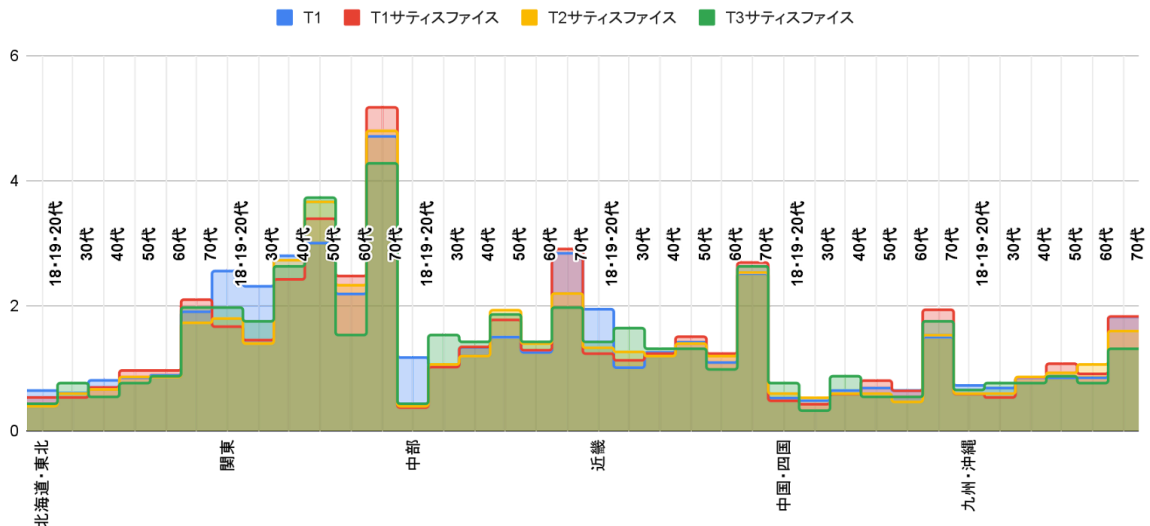
第1回目の調査は割付設定済の2462名に配信、そこからサティスファイス項目を通過した有効ケースは1855名分となりました。第2回は1855名に配信、1500名分を有効ケースとしています。第3回目は1500名に配信し911名が有効ケースとなりました。

以下のグラフは、各地域・年代・性別ごとのサンプル数が全体に対して何%であるかを示しているものです。また、青は第1回調査1配信時の、赤は第1回目サティスファイス通過者（有効ケースとなった回答者）を、黄色は第2回目サティスファイス通過者の分布を、緑色は第3回目サティスファイス通過者の分布を示しています。

男性サンプル



女性サンプル



グラフを見ると、男性、女性ともに地域・年代のT1時点の割合を概ね維持していますが、女性の方が崩れが大きい結果となりました。特に関東、中部、近畿の若年層女性では、割合が減ってしまっているために中高年層で割合が増えているところがあります。また中高年層でも2回目調査を終えて脱落する割合が関東／中部／九州・沖縄では目立っています。男性よりも女性の政治意識が十分に反映されにくいデータである点は注意が必要となるデータ構成であることがわかりました。

2-2 3回継続回答者の比例区投票先と各社調査との比較

すでに公表されている比例区での各政党の得票率と3回の調査全てに回答した回答者データを比較します。

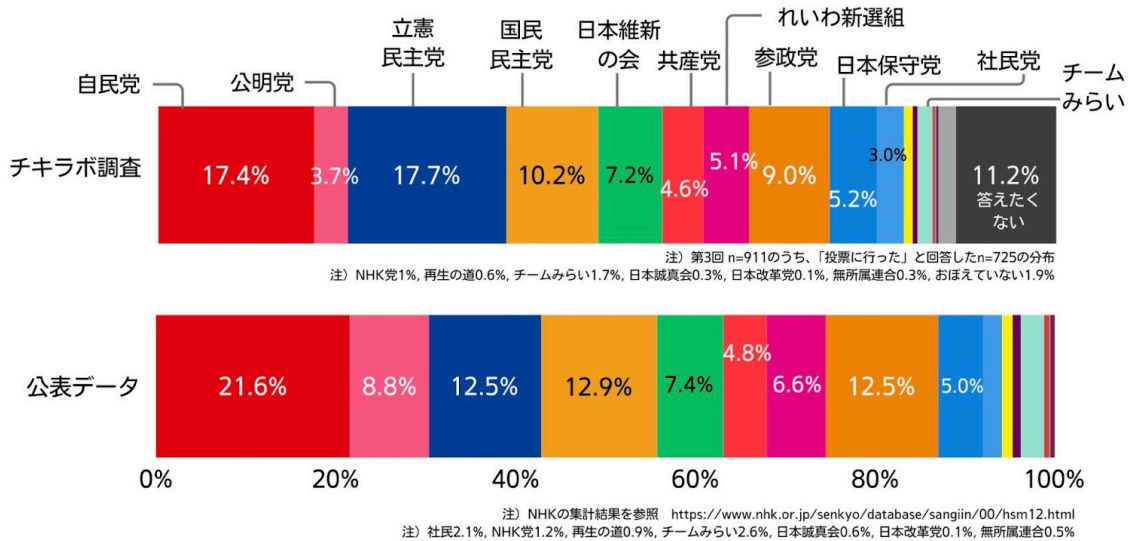
- チキラボによる調査データの傾向

- 自民党・公明党・参政党投票者がやや少なめに分布
- 立憲民主党投票者はやや多めに分布

チキラボのデータには「答えたくない」を選択している人もいるため、実際の割合と多少前後する可能性があります。

2025年参院選調査 比例区投票先の分布

社会調査支援機構
チキラボ

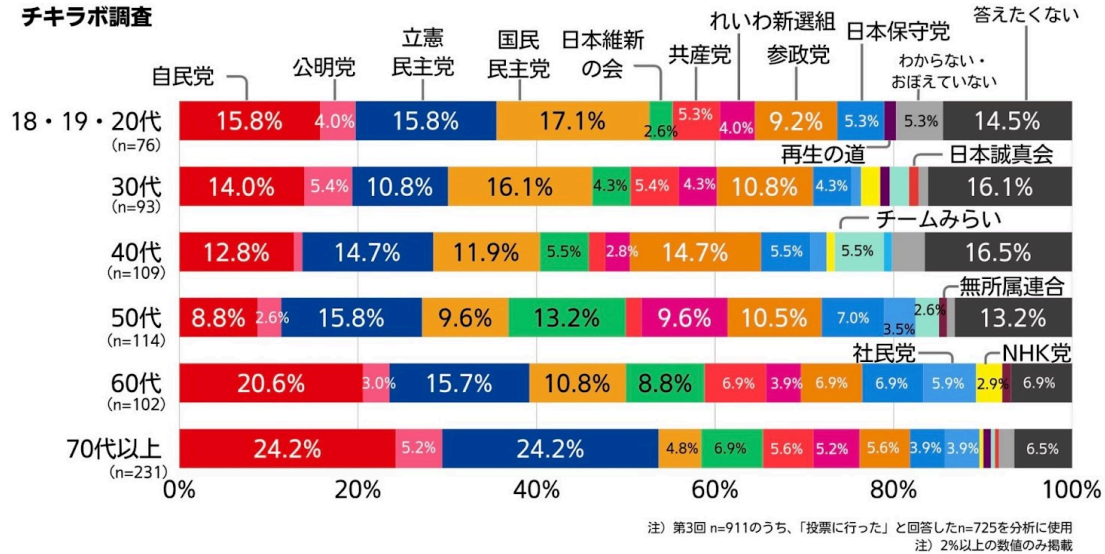


次に年代別の分布を、NNN系列30局・読売新聞・NHK合同の出口調査の結果と比較したいと思います。

- チキラボによる調査データの傾向
 - すべての年代で自民党投票者が少なめに分布
 - すべての年代で立憲民主党投票者が多めに分布
 - 国民民主党が若年層ほど多くなっている傾向は、出口調査とも一致
 - 若年層の参政党投票者が少なめに分布
 - 中年層のれいわ投票者が少なめに分布

2025年参院選調査 比例区投票先 年代別の分布

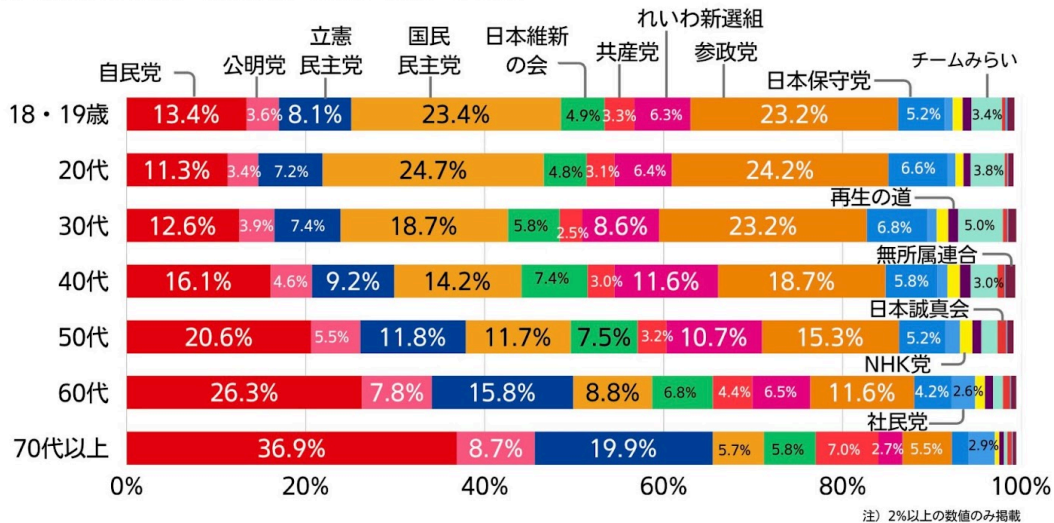
社会調査支援機構
チキラボ



2025年参院選調査 比例区投票先 年代別の分布

社会調査支援機構
チキラボ

(参考) NNN系列30局・読売新聞・NHK合同の出口調査

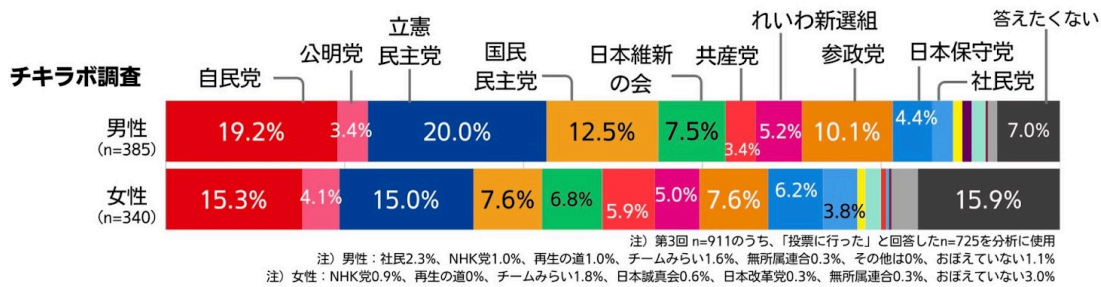


性別の分布を、同じくNNN系列30局・読売新聞・NHK合同の出口調査の結果と比較したいと思います。

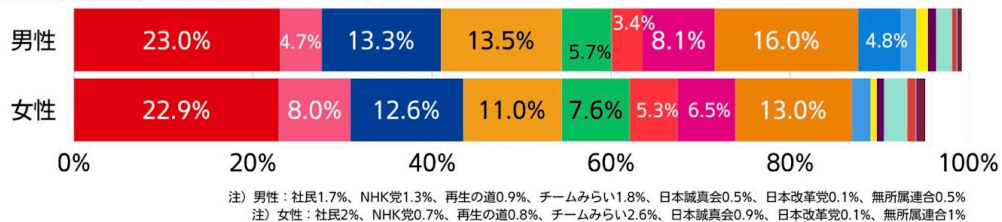
- チキラボによる調査データの傾向
 - 男女ともに自民党投票者が少なめに分布
 - 男女ともに立憲民主党投票者が多めに分布しているが、男性の立憲民主党投票者が多めに分布
 - 参政党についても男女ともに少なめに分布
 - 日本保守党に入れた女性で、やや多めに分布

2025年参院選調査 比例区投票先 男女別の分布

社会調査支援機構
チキラボ



(参考) NNN系列30局・読売新聞・NHK合同の出口調査



以上、チキラボの調査データの「偏り」を確認しました。
 チキラボの調査データには「答えたくない」という選択肢があったことに加え、公表データや出口調査と一致していない部分があります。多めに分布しているグループは実態より「声」が大きめにでており、少なめに分布しているグループは実態より「声」が小さめに聞こえる、ということに注意して、分析結果を解釈する必要があります。

2-3 使用した質問文

第1回調査・第3回調査では、心理尺度を用いた質問文を設定しました。各心理尺度の開発元・日本語訳版作成の先行研究は以下の通りです。

【第1回調査】

- ・ Q2は内在的公正世界信念・究極的公正世界信念を測定する心理尺度として設定。
- ・ 村山綾・三浦麻子2015「被害者非難と加害者の非人間化—2種類の公正世界信念との関連」『心理学研究』第86巻1号, pp.1-9

【第3回調査】

- ・ Q17はダークトライアドを測定する心理尺度として設定。「Dark Triad Dirty Dozen (DTDD; Jonason & Webster, 2010)」尺度を翻訳した「日本語版Dark Triad Dirty Dozen」(DTDD-J; 田村他, 2015)」12項目を使用。
- ・ 田村 紋・小塩 真司・田中 圭介・増井 啓太 (2015). 日本語版 Dark Triad Dirty Dozen (DTDD-J) 作成の試み パーソナリティ研究, 24(1), 26-37.
- ・ Q18はサディズムを測定する心理尺度として設定。「Varieties of Sadistic Tendencies (VAST; Paulhus & Jones, 2015)」の日本語版。
- ・ 下司 忠大・小塩 真司 (2016). 日本語版Varieties of Sadistic Tendencies (VAST-J) の作成——因子構造およびHEXACOとの関連性—— 日本パーソナリティ心理学会第25回大会発表論文集, 109.

・ Q19はスパイトを測定する心理尺度として設定。Marcus et al.(2014)では「スパイト傾向尺度 (Spitefulness Scale)」(17項目, 5件法)が開発されており、増井・下司(2023)が日本心理学会大会において日本語版を発表。増井氏・下司氏からの許諾を得て日本語版を入手、調査に使用しました。調査への使用をご快諾いただきましたこと、感謝申し上げます。

・ 増井 啓太・下司 忠大 (2023). 日本語版スパイト傾向尺度の信頼性および妥当性の検討 日本心理学会第87回大会発表論文集, 55.

・ なお日本語版は未公開のため、調査票・集計表からは該当項目は除いています。

・ Q21は権威主義を測定する尺度として設定。社会学のSSM調査の項目を使用。

・ Q22は社会支配傾向を測定する心理尺度として設定。

・ Imada, H., Himichi, T., Takahashi, R., & Mifune, N. (2023). Development of the Japanese Version of the Short Social Dominance Orientation Scale (J-SSDO).

・ Q23は陰謀論信念を測定する心理尺度として設定。

・ 眞嶋良全2024「日本語版陰謀論的心性質問票の開発と妥当性の検討」『社会心理学研究』第40巻第1号, pp.35-45.

【分析協力】

東洋大学大学院社会学科研究科博士課程の大川明李さんにご協力いただきました。